

平成21年度決算を認定 ～決算特別委員会～

今期市議会定例会では、笠間市の平成21年度決算を審査するため、決算特別委員会を設置しました。

委員会は8人の委員で構成し、9月9日、10日、13日の3日間、執行部より部課長や担当者の出席を求め、認定第1号から第6号までの平成21年度決算認定について審査を行いました。

審査は、課ごとに説明を受け、質疑を行いました。ここでは、審査過程での質疑、意見等の主な内容を部ごとに紹介します。

■ 主な質疑・意見等について

■ 一般会計

市長公室 賀詞交換会の経費、企業誘致の成果、ふるさと融資の状況についてなど。

総務部 同時選挙での国・県の費用負担割合、市民総合賠償保険の活用状況、災害時の備蓄食料、市債の利率と償還方法、軽自動車税の滞納についてなど。

市民生活部 豊芥処理費の不用額、外国人登録の状況、住基ネット利用者の状況についてなど。

福祉部 生活保護世帯の状況、保育料未納世帯の状況、シルバー人材センターの稼動状況についてなど。

保健衛生部 新型インフルエンザ対策、女性特有のがん検診事業についてなど。

産業経済部 強い農業づくり交付金

事業による農業機械購入、遊休農地活用緊急対策事業の内容、土地改良事業の進捗状況、森林機能緊急回復事業の間伐推進事務費の内容についてなど。

都市建設部 福原市営住宅の駐車場収入、河川愛護奨励金を財源とする河川報償費の内容についてなど。

教育委員会 心の教室相談員の配置状況、給食費の統一と滞納対策、友部図書館の借地料についてなど。

消防本部 消火栓・防火水槽設置についてなど。

■ 特別会計

後期高齢者医療特別会計 保険料についてなど。

介護保険特別会計 保険料の不納欠損についてなど。

公共下水道事業特別会計 使用料の収入未済額、徴収嘱託員の徴収実績についてなど。

公営企業会計 特別徴収
償還方法、下水道接続率と接続推進についてなど。

水道事業会計 有収率、未収金の対応、ペイオフ対策、鉛管改修の進捗状況についてなど。

市立病院事業会計 未収金の状況、過年度分損益勘定留保資金についてなど。

■ その他

提出資料である主要施策の成果報

告書記載内容の統一についての意見

平成21年度決算状況(普通会計)(単位:千円)

項目	平成21年度	平成20年度
歳入総額	28,551,750	26,894,801
歳出総額	27,694,993	26,327,384
歳入歳出差引	856,757	567,417
翌年度へ繰り越すべき財源	193,341	185,315
実質収支	663,416	382,102
単年度収支	281,314	▲ 65,574
積立金	23,881	87,677
繰上償還金	83,865	25,958
積立金取崩額		
実質単年度収支	389,060	48,061
財政健全化判断比率 注)	実質赤字比率(%)	—
	連結実質赤字比率(%)	—
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	105.7
積立金現在高	財調	2,220,267
	減債	1,381,690
	特定目的	2,562,032
地方債現在高		25,284,362

注) 財政健全化判断比率

財政の悪化状況を「早期健全化」と「財政再生」の2段階の基準でチェックします。笠間市はすべての比率で基準を下回っています。

【各指標の基準比率】 (単位: %)

	早期健全化	財政再生
実質赤字比率	12.61	20.00
連結実質赤字比率	17.61	40.00
実質公債費比率	25.0	35.0
将来負担比率	350.0	

がされました。

委員会での採決について

3日間にわたり執行部との間で活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い審査を終了しました。

本会議での報告・採決について

審査の結果、笠間市のすべての平成21年度決算について全会一致により認定しました。

定例会最終日の9月17日、海老澤勝委員長が、決算特別委員会の審査結果を本会議で報告し、本会議での採決が行われ、委員会の報告のとおり認定されました。



活発な議論が交わされた決算特別委員会